

2021年10月27日

令和3年度 VOL.25

《 金色の丘を歩く 》

例年より1週間長く楽しめる

コキア「黄金色」

国営ひたち海浜公園では、みはらしの丘のコキアの見頃が過ぎ、全体に茶色っぽくなってきました。ここからさらに色が抜け、次第に“ホウキ色”へと近づいていきます。今年は、祝日の関係で抜き取り作業を1週間延期。やさしい秋の日差しを浴びて、黄金色に輝いているようにも見えるコキアの美しくもどこか寂し気な色合いは、秋の終わりを告げているかのようです。



黄金コキア (2020年10月31日撮影)

◆日に照らされて「黄金色」

一年草であるコキアは、11月に入ると枝や葉が枯れ始め、徐々に色が抜けて、ホウキのように固くツツンとした触り心地に。日に照らされると“黄金色”に輝くようにも見えることから、この時期のコキアを「黄金（こがね）コキア」と呼んでいます。西日でより黄金色が映えるので、写真の撮影は、午後の時間帯がおすすめです。

場所/みはらしの丘 面積/約1.9ha 本数/約3万2千本 <黄金コキア>10月25日頃～11月8日



ネモフィラの種まき (2020年11月13日撮影)

◆今年のコキアは11月8日まで

コキアの抜き取り作業は、11月9日(火)の休園日に行います。例年、11月の最初の休園日に実施していますが、今年は休園日の翌日が祝日のため、翌週に作業を実施。1週間延びることで、普段は見ることができない、より色の抜けた“黄金色”が楽しめるチャンスです。

◆「干支の巨大地上絵」の材料に

この後、コキアは「干支の巨大地上絵」に生まれ変わります。12月下旬から1月上旬にかけて大観覧車の下に登場する当公園の冬の風物詩。公園で集めた自然素材で描き、輪郭に間伐材、影となる部分に松ぼっくりを使用。乾燥させたコキアで来年の干支「寅」の毛並みを表現します。



干支の巨大地上絵 (2020年12月19日撮影)

Information

第14期海浜陶芸教室
参加者募集中

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4